愛知県立芸術大学

共鳴 Kyo-mei

2024 愛知パーカッション・フェア

～「共鳴～Kyo-mei」が繋ぐさまざまなパーカッションの世界～

2024年11月9日(土)～10日(日)12:00～17:00(入場は16:30まで)

愛知県立芸術大学 芸術資料館 ［入場無料］

あなたは“**パーカッション**”を知っていますか？わたしたちの身の回りにある“**パーカッション**”が大集合！この展示を見たら、あなたの常識意識がガラリと変わるかも！？



“モノづくり愛知”から発信するジャンルレスイベント！社会、産業、アート、音楽、娯楽…ありとあらゆる日常が、“**パーカッション**”を通じて、「触れて・叩いて・感じて」繋がる！

令和6年度 愛知芸大芸術講座

メディア・クロス・トーク

多様なジャンルの専門家が参加し、さまざまな角度から“パーカッション”の本質に迫る。
前代未聞の異業種によるフリートークから、どんな展開が起こるのか？
ゲストのスペシャルパフォーマンスもお楽しみに！

11/9（土）旭堂 鱗林(講談師)×**酒向 慎司**(名工大准教授)×**ウエヤマトモコ**(音響作家)

11/10(日）イサオ・ナカムラ(パーカッショニスト)×**坂田 直樹**(作曲家)×**小林 大地**(金工作家)

［司　会］　深町 浩司(本学音楽学部管打楽器コース教授)
　　森 真弓(本学美術学部メディア映像専攻教授)
［時　間］　13:00～14:30　［会　場］芸術資料館 地下演習室　［受講料］無料
［お問合せ］愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課　☎0561-76-2873※平日9:00～17:30

愛知芸大 Fine Arts & Music 芸術講座

“パーカッション”にまつわるプロフェッショナル大集合！

加藤 滋（Shigeru Kato）
木の健康を守るお医者さんである樹木医は、木を優しく叩きその音を聴く。活きている木はいったいどんな声を発しているのだろうか…？加藤氏は瀬戸の森の木と触れあい彼らの声を聴く、**パーカッション**の達人なのである！
樹木医／フォレストニア代表（瀬戸市）

深田 順子（Junko Fukada）
医師・看護師が患者の身体を指先でトントン叩く「打診（だしん）法」は、身体が発する音で健康状態を把握する診察技法。深田氏は、県民の健康を守るべく打診法を学生に教授する、**パーカッション**の達人なのである！
博士（看護学）／愛知県立大学看護学部教授

坂田 直樹（Naoki Sakata）
けん玉が大好きな坂田氏は、世界を飛び回り活躍する作曲家。旅行では常にけん玉を持ち歩き、いろんな国でけん玉を“カチカチ”と鳴らす、**パーカッション**の達人なのである！
作曲家／愛知県立芸大卒業生

ウエヤマトモコ（Tomoko Ueyama）
街中のあらゆる音に耳を傾け、ひとつひとつの音の個性に光を当てるウエヤマ氏は、多様な**パーカッション**の音を録音収集して人々の耳に届ける達人なのである！
音響作家／愛知県立芸大メディア映像スタジオ職員

加藤 寿和（Toshikazu Kato）
お寺でお坊さんがポクポク叩く木魚も**パーカッション**。この木魚をすべて手彫りで作り上げる加藤氏は、愛知が世界に誇る音を生み出す、**パーカッション**の達人なのである！
木魚職人／加藤木魚製造所（一宮市）

酒向 慎司（Shinji Sako）
愛知の街を自転車で風のように行き来し、街の音を知る酒向氏。このフェアで紹介するさまざまな**パーカッション**を、音響工学の立場から鋭く分析する「音処理」の達人なのである！
博士（工学）／名古屋工業大学工学部准教授

小林 大地（Daichi Kobayashi）
ヨーゼフ・シュトラウス「鍛冶屋のポルカ」のごとく鉄をリズミカルに叩く小林氏は、金属工芸のプロ。聴覚と触覚で金属と対話しながらアート作品を生み出す、**パーカッション**の達人なのである！
金属工芸作家／愛知県立芸大金工室工房職員

旭堂 鱗林（Rinrin Kyokudo）
講談の最中に鳴らす張り扇（はりおうぎ）の「バチン！」旭堂鱗林氏がひとたび張り扇を鳴らせば、その音によって物語は一気に時空を超え、演芸場でうたた寝する客は飛び起きる。鱗林氏は、日本伝統話芸において**パーカッション**を駆使する達人なのである！
講談師（名古屋市在住）

佐藤 文子（Fumiko Sato）
ロクロで焼き物をつくる達人である佐藤氏。素焼き前の生乾きの皿底をトントン叩き、音と触感で皿の厚さを感じながら削っていく、土の音を聴く**パーカッション**の達人なのである！
陶芸家／愛知県立芸大美術学部准教授

イサオ・ナカムラ（Isao Nakamura）
音楽家でありながら音楽家に見えない、初めて会うのに初めましてな感じがしないイサオ氏。ジャンルレスで自由に歌い踊り表現する、**パーカッション**の達人なのである！
ソロ・パーカショニスト／愛知県立芸大客員教授

深町 浩司（Koji Fukamachi）
クラシック音楽界のベテラン打楽器奏者でありながら、自由天然な感性でクラシック音楽の既成概念を打ち砕く。木の枝からティンパニまで、何にでも触れて心地よい音空間をつくり出す、**パーカッション**の達人なのである！
愛知県立芸大音楽学部教授／「共鳴～Kyo-mei」プロジェクトリーダー

坪井 研治（Kenji Tsuboi）
名古屋の街を東西に走る東山線の車両を保守点検する藤が丘工場。打音検査では、金づちや木の棒を巧みに使い車両を叩き、鋭い五感を駆使して車両と対話する、**パーカッション**の達人なのである！
名古屋市交通局藤が丘工場工場長補佐（修車）

森 真弓（Mayumi Mori）
触れること＝**パーカッション**はコミュニケーションの基本。世の中のありとあらゆるインターフェース（接点）に存在する**パーカッション**を探り、その意味を追う達人なのである！
博士（美術）／愛知県立芸大美術学部教授

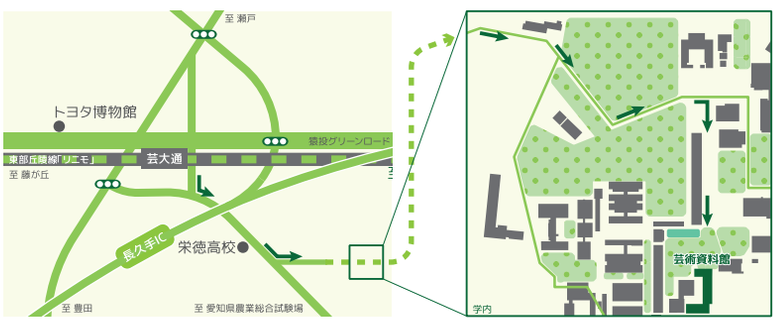
「複合芸術研究」受講学生
今年度前期の授業に参加した学生による、新たな**パーカッション**アイデアの展示を計画中！
愛知県立芸大美術学部・美術研究科・音楽学部・音楽研究科に所属する学生有志

会場へのアクセス

《名古屋方面から》　市営地下鉄東山線「藤が丘」駅より東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車　徒歩約10分
もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約15分

《豊田・瀬戸方面から》愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車　徒歩約10分

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。



「共鳴～Kyo-mei」について

パーカッションの基本となる《モノとモノとが「触れ」て音が出ること、「触れかた」が変わると音色が変わること》を認知することから、社会生活におけるさまざまな「接触」の持つ意味に気づき、そこから社会について考える機会を生み出すための活動をする、愛知県立芸術大学発のプロジェクト

共鳴 Kyo-mei

愛知パーカッション・フェア2024
主催：愛知県立芸術大学 社会連携センター
企画：共鳴～Kyo-mei（深町浩司、森真弓）
助成：公益財団法人シキシマ学術・文化振興財団第39回研究助成
協力：愛日緑化造園株式会社（フォレストニア）
　　加藤木魚製造所、名古屋市交通局
あいち県民の日連携事業

11.27 あいち県民の日